

## 外部評価

令和6年度 有馬小学校 外部評価報告書	
評価委員：中野耕佑委員、眞野勇志委員、関根佳代子委員、宮崎弘次委員、森功次委員 中多宏之委員、坂野泰士委員、宇多清二委員、志関亜紀子委員、菊池理良委員 報告書作成者：菊池理良委員	
評価時期	令和7年2月
<b>1 重点目標の評価</b> <b>【重点目標1について】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・「子どもたちに考えさせる」「子どもたちに問う」授業展開ができるように。</li><li>・研究発表会に出席したが、素晴らしかった。「学び合い」を重点に置いて学習を展開していたが、どの学級でもしっかり発表したり話を聞いたりできていた。</li><li>・探究的な活動については、町で学べるものがたくさんある。興味・関心・意欲を育ててほしい。</li><li>・学校の宿題は子どものためになっているか。環境や能力に合わせて調整していくことがこれからは必要になってくる。</li></ul> <b>【重点目標2について】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・「思いやりのある子」について。全校朝会での校長先生の講話などを通して、「やさしい人がえらい人」という意識が育っている。</li><li>・朝、ペア学年でのあいさつ運動では、上級生が頑張る様子が見られた。立ち方を教える姿も見られ、高学年から低学年へ伝統が引き継がれていくことは素晴らしい。</li><li>・かるたや読み聞かせ等、異学年交流が充実している。異年齢との関わりはとても良い。幼小の連携もさらに充実させてほしい。</li></ul> <b>【重点目標3について】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・体力向上については、外部との連携をさらに充実させてみてはどうか。現在実施しているタグラグビーなど、集団で楽しめるスポーツを計画的に取り入れていくことは運動不足の解決につながるものとする。</li></ul>	
<b>2 今後の改善に向けた意見</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・「tetoru」を活用した配信について。「学年だより」などは、保護者だけでなく、児童も見られるように工夫していく。連絡帳の配信（1年生）はとても良い。</li><li>・安全面での配慮。家庭科では古いピーラーを交換するなど、危険の無いよう、取り扱い内容ごとに配慮していく。</li><li>・学校と保護者の意識で乖離が見られるアンケート項目は、来年度原因究明をはかり、課題としていく。</li></ul>	
<b>3 その他の意見</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・地域との交流をさらに工夫してほしい。たとえば卒業生の活用など。</li><li>・地域でも学校を支えていきたい。できることがあれば教えてほしい。</li></ul>	